

給食だより

H30. 3 No.1

みなまだしがっこうきゅうしょくセンター 文責 山田 真祥子

寒さが少し和らぎ、待ちに待った暖かい春はすぐそこまでできています。ご卒業を迎えるみなさん、おめでとうございます。さて、みなさんの思い出に残っている給食は何ですか？これから先も楽しく過ごした給食の時間がみなさんを支える思い出になってほしいと願っています。そして、給食で学んだことを生活に生かして、進学先や新しいクラスでも頑張りましょう！

給食を通して学んだことを振り返ろう！

① 食事は、人間が生きていく上で欠かすことのできない大切なものであることがわかりましたか？



④ 給食は生産者や調理員、栄養士など多くの人々によって支えられていることを知ることができましたか？



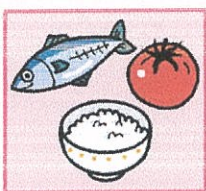
② 食べる前に手洗いを行うほか、栄養バランスの良い食事をとるなど健康に気を付けることができましたか？



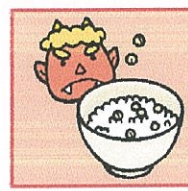
⑤ 配ぜんや盛り付けを丁寧にしたり、食事のマナーに気を付けたり、相手を思いやることができましたか？



③ 学校給食にはいろいろな食品が使われていることを知り、食品や料理の名前がわかりましたか？



⑥ 自分たちの住む地域に昔から伝わる料理や行事食などの食文化を知ることができましたか？



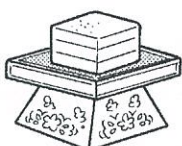
桃の節句(もものせつく)

3月3日は、「桃の節句」とも「上巳の節句」とも呼ばれ、女の子の健やかな成長と幸せを願う日です。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降といわれています。それまでは、厄をはらうための紙の人形だったといわれています。桃の節句につくられる行事食には、はまぐりのお吸い物やひしもち、ちらしずしなどがあります。



ひしもち

ひしもちは、桃の節句で供えるひし形のもちのことです。ひしもちの色や色の並び順は、地域や家庭によって違う場合がありますが、おもに上から赤、白、緑のもちを重ねたものが多く見られます。緑のもちは、生命力の強いよもぎの新芽をつんで使用することで、厄をはらう力があるとされています。



うしお汁

うしお汁とは、はまぐりのお吸い物のことです。はまぐりは、対になっている貝以外とは決して合いません。そのことから、夫婦の仲のよさをあらわすとされています。また、磯遊び(海辺や河原に集まり、草もちや貝料理を食べること)の時期に重なったことから料理に使われたともいわれています。

